

《学校教育目標》 **学びが楽しい飯田小学校**

～心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成～

いつも本校の教育活動にご支援をいただきありがとうございます。12月に行いました児童・保護者・職員アンケートの結果をもとに、最終学校評価を行いました。その結果についてお知らせします。今年度は、能登半島地震や奥能登豪雨などの自然災害により、行事が予定通りに実施できない状況となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のもと、教育活動を進めてまいりました。

1月30日に第3回学校運営協議会及び学校関係者評価委員会を開催し、学校運営協議委員の皆様にご意見をいただき、子どもたちの様子や教育活動について評価していただきました。そこでいただいた意見も含めて学校改善の指標として最終評価を行いました。成果が見られた項目と改善が必要となった項目について一部お知らせします。併せて、保護者や学校運営協議委員の皆様から頂いたご意見の一部も紹介します。

<最終評価結果>

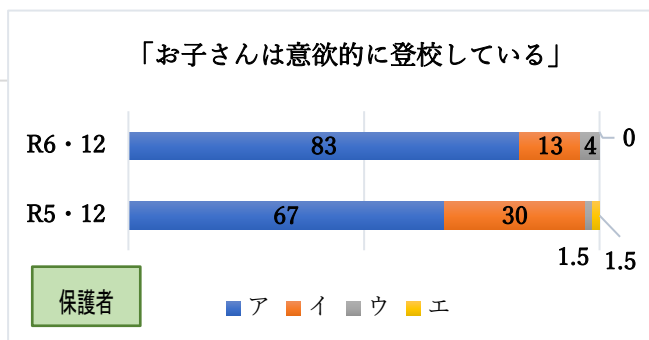
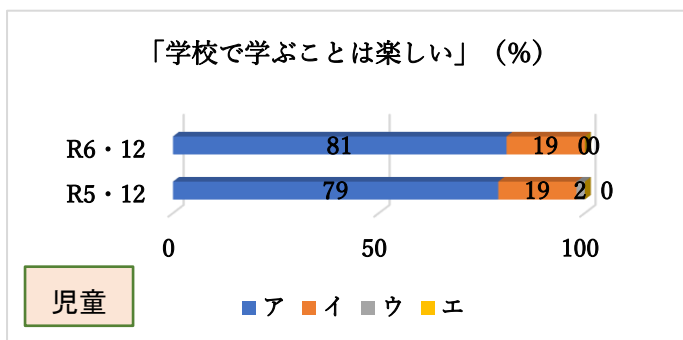
取組項目	学校自己評価	運営委員評価
学びに向かう力の育成と学力向上	① 学びが楽しい学校づくり	A
	② 主体的に課題解決する児童の育成	A
	③ 家庭学習習慣の確立	B
いじめ・不登校のない学校づくり	④ 特別活動の充実	A
	⑤ 規範意識の高揚	A
学校と家庭地域の連携	⑥ 自己健康管理能力の向上	A
	⑦ 家庭・地域との連携協力体制の確立	A
業務改善	⑧ 業務改善	A

<成果がみられた取組>

【学びに向かう力の育成と学力向上】

①「学びが楽しい学校づくり」

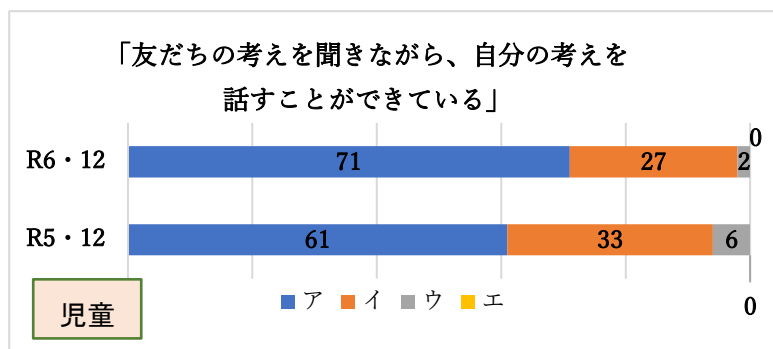
児童アンケート「学校で学ぶことが楽しい」では全ての学年で肯定的回答が100%でした。また、保護者アンケート「お子さんは意欲的に登校している」の項目においては「A：そう思う」の回答が83%であり、令和5年度と比較すると約16%も大幅に増加しています。また、児童アンケート「先生は私たちの思いをよく聞いてくれる」についても99%の児童が肯定的回答をしています。震災後、スクールカウンセラーや臨床心理士など外部の専門家と連携しながら児童の「心のケア」に重点をおいて学校運営を行ってきたことや各種行事・授業づくりにおいて児童が主体的に活動する場を設定してきたことの成果と考えます。



【いじめ・不登校のない学校づくり】

④「特別活動の充実」

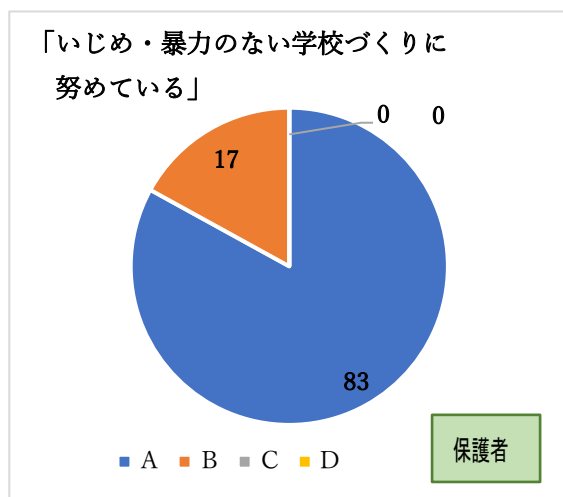
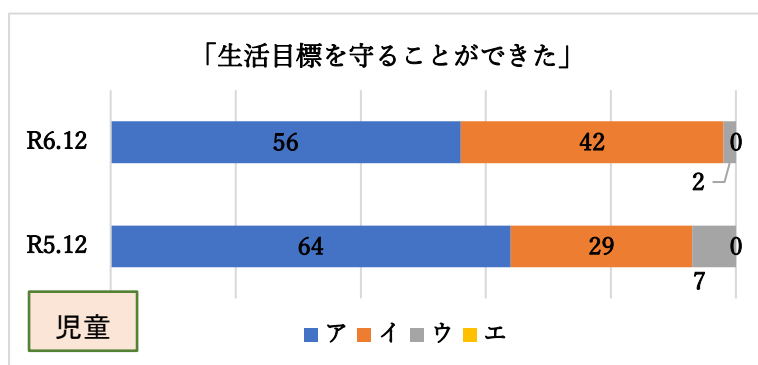
児童アンケート「友達の考えを聞きながら、自分の考えを話すことができる」に肯定的回答は98%であり、特に高学年においては大きく伸びている。教職員アンケート「児童同士の話し合いの場を設定し課題意識の共有・合意形成が図られるように取り組んでいる」に対し、全教職員が肯定的な回答をしています。震災等の影響により、例年どおりの学校行事が実施できない状況において、どのようにしたら行事ができるか児童自身が課題解決に向けて協議を重ね、全校で協働し行事に取り組む姿が数多く見られました。また、各種集会でもよりよい学校生活のため学年関係なく自分の意見を発言する姿が見られました。各学級で互いの良さを認め合える学級づくりや児童主体の対話的な授業づくりに取り組んでいる成果だと考えます。



⑤「規範意識の高揚」

児童アンケート「学校目標を守ることができた」に肯定的回答の児童は98%でした。高学年においては、委員会や代表委員会の活動で児童が主体的に関わり目標を設定した成果だと考えられます。低学年では中間評価と比較すると肯定的回答が4%増加しました。3年生が鼓笛や学校行事に関わる機会が増えたこともあり学校全体で生活目標を守ろうという規範意識が育ってきていると考えられます。また、児童アンケートの「困っている人がいたら、進んで助けようとしている」への肯定的回答が100%でした。昨年度から4%の増加となっています。被災後、様々な支援や多くの方とのつながりを経験することによるものと考えられます。

保護者アンケート「いじめや暴力行為のない学校づくりに努めている」に対する肯定的回答は100%で、令和5年度から8%の増加となり否定的回答も0になりました。児童の「心のケア」「安全」を第一に日頃から家庭との連携を密に行っている成果だと考えられます。



【学校と家庭地域の連携】

⑥「自己健康管理能力の向上」

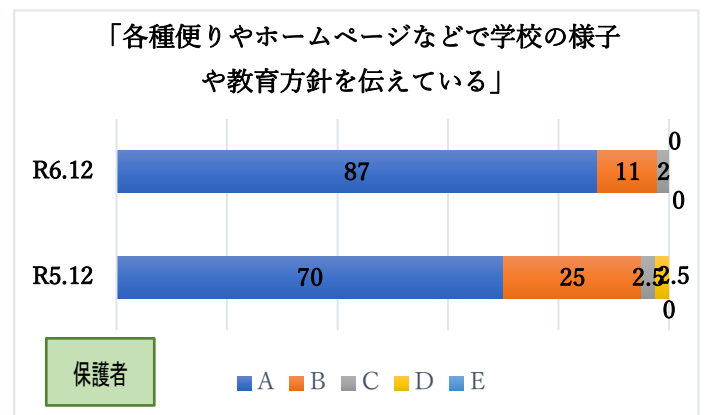
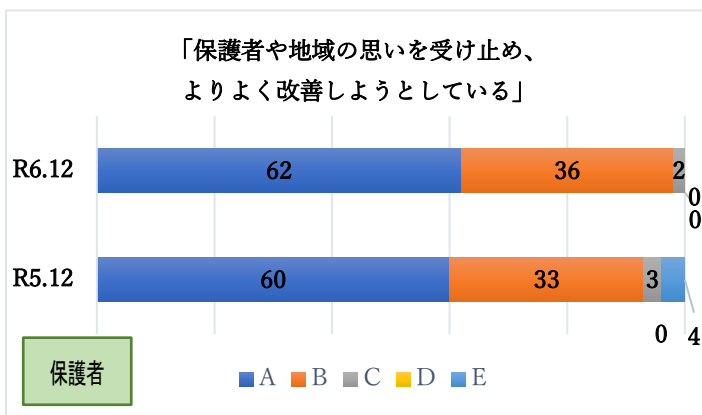
今年度は、平日と休日の起床時刻の差をなくすことで規則正しい生活習慣を身に付けることができるよう、起床時刻を7時に設定し、バランスアップ週間で重点的に取り組み、平日では93%の児童が達成できました。毎月1回、保健集会を実施し、様々な健康課題について児童が自分事として考える場を設けることで、自分の生活習慣についてふりかえる場となったことが効果的でした。保護者アンケート「お子さんは、早寝・早起き・

朝ごはんを食べるなど規則正しい生活をしている」の結果、91%が肯定的回答でした。令和5年度と比較すると「D：そう思わない」や「E：わからない」の回答が0になりました。規則正しい生活習慣の確立に向けて、保護者の協力をいただき継続的にバランスアップカードに取り組んだり、取組の結果を保健だよりに記載し家庭への啓発に努めたりした成果が少しずつ現れてきたと考えます。今後も家庭と連携して個別に対応していくなど、継続して指導を行っていききたいと思います。



⑦ 「家庭・地域との連携協力体制」

保護者との連携について、保護者アンケート「学校は保護者や地域の思いを受け止めよりよく改善しようとしている」について肯定的回答は98%でした。令和5年度と比較すると5%の増加となりました。大きな変化としては「E：わからない」の回答が0となったことです。また、教職員アンケート「保護者、地域とつくるカリキュラムに取り組み実践している」への肯定的回答が100%となりました。今年度は被災からの復興や避難所との共存から、教職員が「保護者・地域とつくるカリキュラム」を意識した教育活動を積極的に実施することができました。さらに、運動会・いいフェス・マラソン大会等の行事開催にあたって保護者と協議を重ねたり保護者や心ある地域の方々と協働したりして教育活動を行ってきたことの成果だと考えられます。今後も全ての保護者にとって開かれた学校となるよう、保護者・地域と協働しより一層連携を深めるとともに、熟議等を通して子どもを中心とした学校教育への理解を図っていききたいと思います。



【業務改善】

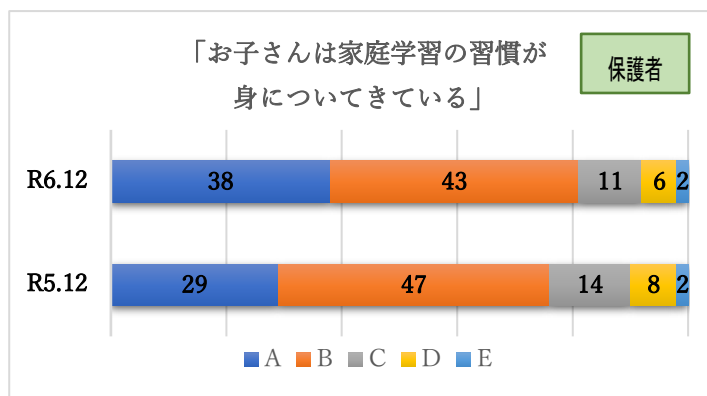
⑧ 「業務改善」

教職員が心身ともに健康で明るく元気に児童と向き合うため、今年度はひと月の超過勤務を60時間以内とすることを目標としました。10月以降の達成率は100%となり、いずれの月も職員の半数以上は45時間以下の勤務時間となりました。被災を経験しライフワークバランスの意識が高まったことや最終退庁時刻を30分繰り上げたことが勤務時間の軽減につながったと考えられます。また、ICTを活用した情報共有や資料のデジタル化を推進し、行事や各種イベントにおいて見通しをもって業務にあたり協働して業務を進めることができるよう今後も取り組んでいききたいと思います。

<改善が必要な取組>

③「家庭学習の確立」

保護者アンケートの結果から「お子さんは家庭学習の習慣が身につけてきている」の肯定的回答は、81%で令和5年度から5%増加しました。また、中間評価と比較しても「A:そう思う」の回答が7%増加しており、少しずつ家庭学習の習慣が身につけてきていることがわかります。学年ごとの平均学習時間は全ての学年で目標を達成していますが、個人の達成率でみていくと、特に高学年で大きな個人差がみられました。保護者の方からは家庭学習強化週間では意欲的に自学に取り組んでいてよかったというご意見をいただきました。しかし、その期間だけでなく日常的な習慣となり、確かな学力の定着につながるよう今後もさらなる指導の工夫と家庭との連携が必要だと考えています。学習内容が難しくなり学習量も増える高学年での家庭学習は特に重要ですが、低学年・中学年の時期から学習を大切にする考え方、学習の習慣を確立させていくことが大切だと考えます。



保護者の方からは家庭学習強化週間では意欲的に自学に取り組んでいてよかったというご意見をいただきました。しかし、その期間だけでなく日常的な習慣となり、確かな学力の定着につながるよう今後もさらなる指導の工夫と家庭との連携が必要だと考えています。学習内容が難しくなり学習量も増える高学年での家庭学習は特に重要ですが、低学年・中学年の時期から学習を大切にする考え方、学習の習慣を確立させていくことが大切だと考えます。

<保護者アンケート記述より>

バランスアップ週間での自学の取組が良かったです。自分で何をしようか考え意欲的にしていました。

→ご家庭でのご協力ありがとうございました。日常的に家庭学習が習慣化するよう今後も働きかけます。

早く寝て早く起きようとする気持ちが薄いように感じます。学校ではしっかり給食を食べてくれているようですが、家ではスキキライが多くて料理メニューが偏りがちです。

→生活習慣についてバランスアップ週間や保健集会などで継続して取り組んでまいります。

毎日楽しそうに通学しています。いつもありがとうございます。これから雪道での通学路（車との距離・スリップした車）が心配です。

→学級や学校で冬季通学の安全指導や集団登下校の見守りを強化していきます。

いつもありがとうございます。保護者として出会ったときは、先生方が気軽に声をかけてくださって感謝しています。

→こちらこそ、いつもありがとうございます。日頃のご理解ご協力いただきありがとうございます。

<学校運営協議委員の方より>

グラウンドフェンスが低くて安心できないのではないかと。遠慮なく活動してほしい。通学路の補修も急いでほしい。子ども達のアンケート結果が高いのは逆境を糧にしている証拠。

月2回読み聞かせに来校している。仮設から通学している子もいるだろうに、いつもと変わらず元気だ。通学路がひどいのが気になる。

子ども達、笑顔いっぱい楽しそう。結果が高いなら、先生たちが頑張られた結果として受け止めるとよいのではないかと。体力の問題について、子ども達が集まって遊ぶところが増えるとよい。通学路で倒れそうな樹木があるのが気になる。 →報告済みです。

例年どおりにできなくても、子どもの意見を聞いて、一緒になってやっているところがよい。マラソン・なわとび大会での高学年から低学年への声掛け、SDGs学習、生き物観察報告会など、全員が自分を堂々と表現して頑張っている。

学校というより、地域と連携してもう少しできるとよい。例えば、「いいフェス」も商店街のイベントと一緒にできるとよい。

子どもを育てながら、暮らせる飯田町を考えたらどうか。子どもも遊べる公園があるなど子育てしやすい町になるとよい。

細やかにがんばっているのに感心した。公民館としての活動を始めたので、連携していけるとよい。

大変貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。飯田小学校は、家庭・地域の皆さんと一体となって、お子様たちの教育にあたってまいりたいと思っています。今後ともご協力の程、お願い致します。